

---

新潟青陵大学  
入学試験問題集  
—看護学部 総合型選抜—

---

2023

Contents

- 第1次試験 P.1
- 第2次試験 P.10
- 解答例 P.14

2023年度  
新潟青陵大学 看護学部 看護学科  
総合型選抜（第1次試験）  
『授業のまとめ』

試験方法について

1) 『メタボリックシンドロームの予防について考えよう』に関する授業を受けます。  
<50分>

2) 理解したこと・考えたことをレポート「授業のまとめ」に記述します。  
<50分>

- ・授業中は「授業資料」や「ワークシート」にメモをとることができます。
- ・「授業資料」や「ワークシート」は、「授業のまとめ」を書く時に使うことができます。

## 学習指導案

- 1 **題材名** メタボリックシンドロームの予防について考えよう
- 2 **ねらい** メタボリックシンドロームを予防するための健康的な生活習慣や特定健診の必要性を理解し、特定健診の受診率向上のためにどうすればよいかを考えることができる。
- 3 **展開**

時間	○学習活動 ・予想される反応	●教師の支援
導入 (15分)	<p>T<sub>1</sub>: あなたは「<u>メタボリックシンドローム</u>」にどのようなイメージをもっていますか。</p> <p>○自分のイメージをワークシートに書く。 ・生活習慣に関係がある ・肥満</p> <p>○メタボリックシンドロームは内臓脂肪の過剰な蓄積に加え、脂質異常・高血圧・高血糖の3つのうち2つ以上が重なった状態であることを知る。</p> <p>○メタボリックシンドロームがすすむと動脈硬化が進行し、心臓病や脳卒中などの循環器病を引き起こすことがわかる。</p>	<p>●ワークシート・メモ用紙と資料を配布しておく。</p> <p>●メタボリックシンドロームの定義について説明する。</p> <p>●「メタボリックシンドロームの影響」の図を提示し、メタボリックシンドロームが進行するとどのようになるか説明する。</p>
展開 (30分)	<p>T<sub>2</sub>: <u>メタボリックシンドロームにならないために、何ができるだろうか。</u></p> <p>○自分の考えをワークシートに書く。 ・規則正しい生活をする ・たばこをすわない</p> <p>○メタボリックシンドロームを予防するための「ブレスローの7つの健康習慣」を知る。</p> <p>○自覚症状がない早い段階で異常を発見し、疾病を予防するために、市町村や企業などの医療保険者の義務として特定健診が行われていることを知る。</p> <p>○特定健診が行われているものの受診率は低く、特に国民健康保険に加入している自営業者や退職者の受診率が低い現状であることがわかる。</p> <p>T<sub>3</sub>: <u>国民健康保険加入者の特定健診の受診率が低いのはなぜだろうか。</u></p> <p>○理由をワークシートに書く。 ・自分には関係ないと思っている ・忙しくて行く時間がない</p> <p>○受診率の低い理由は「心配な時はいつでも受診できるから」「受けようと思っていたが忘れたから」「めんどうだから」などであることがわかる。</p> <p>○「特定健診を受けようと思える個人への動機づけ」と「特定健診を受けやすい社会環境の整備」が課題であることがわかる。</p>	<p>●飲酒、喫煙、食事、運動などの生活習慣に関わるメタボリックシンドロームの予防策を説明する。</p> <p>●自覚症状がない早期に異常を発見し、疾病を予防するために特定健診が行われていることを説明する。</p> <p>●国民健康保険加入者と健康保険及び共済保険の加入者の特定健診の受診率を示し、特に国民健康保険加入者の受診率が低い現状について説明する。</p> <p>●「特定健診未受診の理由」のグラフを用いて、受診率が低い理由を説明する。</p> <p>●特定健診の課題を説明する。</p>
まとめ (5分)	<p>T<sub>4</sub>: <u>授業でわかったことや考えたことは、どのようなことだろうか。</u></p> <p>○わかったことや考えたことをワークシートに書く。 ・メタボリックシンドロームの予防のためには生活習慣に気を付けることが大切だとわかった。 ・特定健診の受診率が低い理由がわかった。</p>	<p>●まとめと振り返りをワークシートに書く時間を3分設ける。</p>

### 4 評価

- ・メタボリックシンドロームを予防するための生活習慣と特定健診について、「授業のまとめ」に解答することができる。(知識・技能)
- ・特定健診の受診率を上げるための取り組みについて、自分の考えを「授業のまとめ」に書くことができる。(思考・判断・表現)

※新型コロナウイルス感染症や不測の事態等への対応のため、オンデマンド型とする。

2023 年度  
新潟青陵大学 看護学部 看護学科  
『総合型選抜 第1次試験』

# ワークシート

## 使い方について

- 1 授業が始まるまでは、この用紙を開いてはいけません。
- 2 ワークシートは、授業中または「授業のまとめ」を書く時に、自由に使うことができます。
- 3 ワークシートは、試験終了後、持ち帰ってください。
- 4 受験番号・氏名を記入してください。

受験番号	氏名

## メタボリックシンドロームの予防について考えよう

1. あなたは「メタボリックシンドローム」にどのようなイメージをもっていますか。

2. メタボリックシンドロームにならないために、何ができるでしょうか。

3. 「国民健康保険」加入者の特定健診の受診率が低いのはなぜでしょうか。

4. 授業でわかったことや考えたことは、どのようなことでしょうか。

【メモ欄】

2023 年度  
新潟青陵大学 看護学部 看護学科  
『総合型選抜 第1次試験』

## 授業のまとめ

### 試験の受け方について

- 1 試験開始の合図があるまでは、この用紙を開いてはいけません。
- 2 解答記入欄は、3 ページです。  
解答は、すべて解答欄に記入してください。
- 3 受験番号・氏名を必ず記入してください。
- 4 下書き用紙は、1 枚です。  
下書き用紙は、試験終了後、持ち帰ってください。
- 5 試験時間は、50 分です。
- 6 試験終了時に、この「授業のまとめ」を提出してください。
- 7 不正な行為があった場合は、解答はすべて無効となります。

受験番号	氏名

問1. の中に適切な用語を書き入れなさい。

- (1) メタボリックシンドロームとは、不適切な  が原因となって、脂質異常・高血圧・高血糖を生じる病態である。
- (2) メタボリックシンドロームが進行すると  を引き起こし、心臓病や脳卒中などの循環器の病気に進行する場合がある。
- (3) メタボリックシンドロームや生活習慣病を  するために行われる健康診査を、特定健診という。
- (4) 男女ともに全ての年代において、健康習慣の数が増加すると、 が延伸する。

問2. メタボリックシンドロームの予防に関する説明について正しいものには○、誤っているものには×を( )に書きなさい。

- (1) 特定健診は、40歳から75歳未満の国民を対象に行われている。 ( )
- (2) メタボリックシンドロームの影響のひとつに、高血圧が挙げられる。 ( )
- (3) 特定健診を受けていない人が、理由として挙げたなかで最も多かった意見は「心配だから」である。 ( )
- (4) 特定健診を行う実施主体は、厚生労働省である。 ( )
- (5) 国民健康保険加入者の特定健診受診率は、国の定めた受診目標を下回っている。 ( )
- (6) 55歳女性で好ましい習慣の数が4~5個の場合、余命は34年と予測できる。 ( )



問3. 以下の語群から正しいものを選びなさい。

- (1) 「ブレスローの7つの健康習慣」に含まれるものを以下の語群の中から4つ選び、番号をそれぞれ  の中に書きなさい。

--	--	--	--

【語群】

- ①たばこを吸わない ②毎日決まった時間に寝る ③太りすぎない  
④夕食を食べすぎない ⑤おやつはカロリーを考えて食べる ⑥定期的に運動する  
⑦激しい運動を行う ⑧朝食を食べる ⑨バランスの取れた食事をする

- (2) 特定健診の基本的な健診の項目に含まれるものを以下の語群の中から4つ選び、番号をそれぞれ  の中に書きなさい。

--	--	--	--

【語群】

- ①色覚 ②視力 ③聴力 ④身長 ⑤尿検査 ⑥心電図 ⑦血圧 ⑧体重 ⑨脊柱側弯

問4. 特定健診の対象者数が5,420万人、特定健診を受けた人の割合が53.4%であるとして、特定健診を受診しなかった人数を求めなさい。

なお、解答は四捨五入のうえ、万の位までの概数で示し  の中に書きなさい。

--



2023年度

新潟青陵大学 看護学部 看護学科

総合型選抜（第2次試験）

『課題文の読み込み』

### 試験方法について

1) 課題文の読み込み<30分>

- ・課題文を読み、面接の準備をします。
- ・別紙の課題文とメモ欄にメモをしてよいです。
- ・メモ用の筆記用具（鉛筆 シャープペンシル 色付きのペン 蛍光ペン 消しゴム）は自由に使用して構いません。
- ・課題文やこの時間に作成したメモは、面接中にいつでも見ることができます。

2) 面接<20分>

課題文の内容について、面接を行います。

面接では次のことを行います。

- ① 課題文にはどのようなことが書いてあったのかを、3分程度で述べてください。
- ② 課題文の内容について、あなたの意見を3分程度で述べてください。
- ③ 課題文の内容やあなたの意見に関する質問にお答えください。

2023 年度

新潟青陵大学 看護学部 看護学科

『総合型選抜 第2次試験』

## 課題文

- 1 合図があるまでは、この用紙を開いてはいけません。
- 2 右下の受験番号・氏名欄に受験番号および氏名を記入してください。
- 3 この用紙には、課題文とメモ欄があります。
- 4 印刷が不明瞭な場合のほかは、課題文について質問は受け付けません。
- 5 試験終了後に、この用紙はお持ち帰りください。
- 6 不正な行為があった場合は、試験結果はすべて無効になります。

受験番号	氏名

# 従業員50人未満 実施45%

# 中小企業遅れ

- パワハラ対策義務化で企業に求められる対応
- 1 職場の対策方針の明確化と周知
  - 2 相談体制の整備
  - 3 パワハラへの迅速かつ適切な対応
  - 4 プライバシーの保護と不利益取り扱いの禁止

●企業規模別のパワハラ対策実施率

1000人以上	90%
300~999人	89%
100~299人	75%
50~99人	64%
1~49人	45%
全体	66%

※エンジャパン調べ

職場でのパワーハラスメント対策が中小企業でなかなか進まない。改正労働施策総合推進法（パワハラ防止法）に基づき、4月から対策を講じることが義務づけられたが、実施企業が大企業の半数というデータも。起きた場合の配置転換が難しく、経営層の理解が高まらないことが要因とされ、対応を急ぐよう求める声が上がっている。（林佳代子）

## 配置転換難しく 経営者二の足

2020年6月施行の改正法は、パワハラについて▽職場の優越的な関係を背景として▽業務上必要かつ相当な範囲を超えている▽労働者の就業環境が害される——と定義。厚生労働省は指針で、パワハラに該当する行為を「精神的な攻撃」や「人間関係からの切り離し」なども類型に分類し、事例を公表している。

改正法では、企業にパワハラを禁止やそうした行為に厳正に対処することを就業規則などに明記し、周知することを義務づけた。相談体制の整備や迅速な対応も必要で、大企業では施行時に適用され、努力義務だった中小企業も今年4月から義務化された。

中小企業で対象になるのは従業員300人以下の製造業や1000人以下のサービス業など。罰則規定はないが、違反した企業は労働局から指導や勧告を受け、

4月義務化  
現状はこうした企業ばかりではない。人材サービス大手のエン・ジャパン（東京）が3月に公表した調査結果（497社の人事担当者回答）によると、対策を実施している従業員50人未満の企業は45%で、1000人以上の企業（90%）の半数にとどまった。

大阪府内の中古車販売会社の社長は「義務化は最近まで知らなかった。これまで問題は起きていない」として対策が未着手だといい。

大阪府内の中古車販売会社の社長は「義務化は最近まで知らなかった。これまで問題は起きていない」として対策が未着手だといい。

規模が小さいため、かわりの人材が乏しいという事情もある。府内のある社会

管理職の意識低く  
「厳格な処分規定を設けて、パワハラが起きた場合、事業に影響が出かねない」と心配し、二の足を踏む経営者もいる。研修費などの負担を嫌がるケースもあり、なかなか進まない」と漏らす。

従わなければ企業名が公表される。  
従業員約30人の住宅建材メーカー「竹屋化学研究所」（大阪府東大阪市）は、義務化に合わせて就業規則を改定。パワハラ禁止を明文化し、取締役会で処分を決めるとのルールも設けた。

研究材料も提供している。訴訟に備えた保険を販売する損保会社もセミナーなどを開き、指南している。中小企業は組織がスリムな分、トップが動き出せば、浸透は速いとされる。成蹊大の原昌登教授（労働法）は「パワハラが蔓延する職場は生産性の低下や人材流出が必ず起きる。経営者は重大な経営リスクになると認識し、目を背けてはいけない」としている。

厚労省は今年度、中小企業の担当者向けにハラスメント相談の応じ方に関する研修を計画。動画で解説するウェブサイトも開設し、

国が研修計画

従業員のパワハラが企業の経営に悪影響を及ぼす事例は最近も起きている。青森県八戸市の中小規模の住宅会社では2018年2月、うつ病になった男性社員（当時40歳代）が自殺。前月に行われた新年会で、上司が賞状を「症状」と言い換えた男性宛ての書面を用意し、「大した成績を残さず、あーあって感じ」とした。

大の原昌登教授（労働法）は「パワハラが蔓延する職場は生産性の低下や人材流出が必ず起きる。経営者は重大な経営リスクになると認識し、目を背けてはいけない」としている。

厚労省によると、21年度に精神疾患で労災認定されたのは全国で過去最多の629人。原因別ではパワハラは125人が最多で、うち12人が自殺していた。

厚労省によると、21年度に精神疾患で労災認定されたのは全国で過去最多の629人。原因別ではパワハラは125人が最多で、うち12人が自殺していた。

約8000万円の損害賠償を求めて青森地裁に提訴

約8000万円の損害賠償を求めて青森地裁に提訴を求めている。パワハラの内容が報じられると、同社に批判の電話が殺到する事態に。同社はホームページで謝罪した。今年23日には、上司のパワハラが自殺の原因だったと認めて裁判外で和解した。

社員自殺で訴訟にも  
従業員のパワハラが企業の経営に悪影響を及ぼす事例は最近も起きている。青森県八戸市の中小規模の住宅会社では2018年2月、うつ病になった男性社員（当時40歳代）が自殺。前月に行われた新年会で、上司が賞状を「症状」と言い換えた男性宛ての書面を用意し、「大した成績を残さず、あーあって感じ」とした。

約8000万円の損害賠償を求めて青森地裁に提訴を求めている。パワハラの内容が報じられると、同社に批判の電話が殺到する事態に。同社はホームページで謝罪した。今年23日には、上司のパワハラが自殺の原因だったと認めて裁判外で和解した。

約8000万円の損害賠償を求めて青森地裁に提訴を求めている。パワハラの内容が報じられると、同社に批判の電話が殺到する事態に。同社はホームページで謝罪した。今年23日には、上司のパワハラが自殺の原因だったと認めて裁判外で和解した。

約8000万円の損害賠償を求めて青森地裁に提訴

約8000万円の損害賠償を求めて青森地裁に提訴を求めている。パワハラの内容が報じられると、同社に批判の電話が殺到する事態に。同社はホームページで謝罪した。今年23日には、上司のパワハラが自殺の原因だったと認めて裁判外で和解した。

約8000万円の損害賠償を求めて青森地裁に提訴を求めている。パワハラの内容が報じられると、同社に批判の電話が殺到する事態に。同社はホームページで謝罪した。今年23日には、上司のパワハラが自殺の原因だったと認めて裁判外で和解した。

【メモ欄】

# 2023 年度

---

## 解答例

※「第1次試験の問5」「第2次試験」の解答例は掲載していませんのでご了承ください。

2023 年度 新潟青陵大学看護学部看護学科『総合型選抜 第 1 次試験』授業のまとめ  
(解答)

問 1.  の中に適切な用語を書き入れなさい。(各 4 点)

- (1) メタボリックシンドロームとは、不適切な  生活習慣 が原因となって、脂質異常・高血圧・高血糖を生じる病態である。
- (2) メタボリックシンドロームが進行すると  動脈硬化 を引き起こし、心臓病や脳卒中などの循環器の病気に進行する場合がある。
- (3) メタボリックシンドロームや生活習慣病を  早期発見 するために行われる健康診査を、特定健診という。
- (4) 男女ともに全ての年代において、健康習慣の数が増加すると、 余命 が延伸する。

問 2. メタボリックシンドロームの予防に関する説明について正しいものには○、誤っているものには×を( ) に書きなさい。(各 3 点)

- (1) 特定健診は、40 歳から 75 歳未満の国民を対象に行われている。( ○ )
- (2) メタボリックシンドロームの影響のひとつに、高血圧が挙げられる。( × )
- (3) 特定健診を受けていない人が、理由として挙げたなかで最も多かった意見は「心配だから」である。( × )
- (4) 特定健診を行う実施主体は、厚生労働省である。( × )
- (5) 国民健康保険加入者の特定健診受診率は、国の定めた受診目標を下回っている。( ○ )
- (6) 55 歳女性で好ましい習慣の数が 4~5 個の場合、余命は 34 年と予測できる。( × )



問3. 以下の語群から正しいものを選びなさい。(各2点)

(1) 「ブレスローの7つの健康習慣」に含まれるものを以下の語群の中から4つ選び、番号をそれぞれ  の中に書きなさい。

①	③	⑥	⑧
---	---	---	---

【語群】

- ①たばこを吸わない ②毎日決まった時間に寝る ③太りすぎない  
④夕食を食べすぎない ⑤おやつはカロリーを考えて食べる ⑥定期的に運動する  
⑦激しい運動を行う ⑧朝食を食べる ⑨バランスの取れた食事をする

(2) 特定健診の基本的な健診の項目に含まれるものを以下の語群の中から4つ選び、番号をそれぞれ  の中に書きなさい。

④	⑤	⑦	⑧
---	---	---	---

【語群】

- ①色覚 ②視力 ③聴力 ④身長 ⑤尿検査 ⑥心電図 ⑦血圧 ⑧体重 ⑨脊柱側弯

問4. 特定健診の対象者数が5,420万人、特定健診を受けた人の割合が53.4%であるとして、特定健診を受診しなかった人数を求めなさい。

なお、解答は四捨五入のうえ、万の位までの概数で示し  の中に書きなさい。  
(10点)

$$5420 \text{ 万人} \times 0.534 = 2894.28 \text{ 万人} \quad 5420 \text{ 万人} - 2894.28 \text{ 万人} = 2525.72 \text{ 万人}$$

$$\text{(別解)} \quad 5420 \text{ 万} \times (1 - 0.534) = 2525.72 \text{ 万人}$$

2525.72 万人を四捨五入すると 2526 万人

2526 万人
---------

